

第6次基本計画 (令和2年度実施状況)

施策評価表

第2節 5つのまちづくりの目標に関する取組

第4 自然と環境にやさしいまち

1 自然と調和した快適環境の保全

基本施策 25 自然環境の保全

基本施策 26 公害の防止と地球環境の保全

基本施策 27 生活衛生の充実

2 廃棄物の適正処理と資源循環型社会の実現

基本施策 28 ごみの減量とリサイクルの推進

基本施策25 自然環境の保全

現況と課題

本市の自然は、樽前山麓の広大な森林を始め、湖沼群や湿原、自然緑地などが広く分布しています。全国屈指の渡り鳥の中継地として知られ、ラムサール条約登録湿地となっているウトナイ湖には、鳥獣の良好な生息地の保全、維持、人と野生生物との共生が図られるよう、平成14年（2002年）7月に「ウトナイ湖野生鳥獣保護センター」を開設しました。

この豊かな自然環境は、野生生物の生息・生育の場であるとともに、都市の環境保全や水源かん養などの機能を持ち、また、市民レクリエーションの場としても利用されています。

本市では、こうした優れた自然を保全するため、苫小牧市自然環境保全条例により、自然環境保全地区の指定や開発行為の適正な規制などを行っているほか、北海道環境緑地保護地区、学術自然保護地区、鳥獣保護区などの指定を受けています。

また、近年は、野鳥の高病原性鳥インフルエンザの国内各地での発生、さらに、アライグマやエゾシカによる生態系や農林業などへの被害等、自然環境への影響のみならず、市民生活にも大きな影響を与えており、その対策が求められています。

今後、自然環境保全の意義は一層大きくなるものと考えられ、人と自然との共生を基本に、市民、関係機関、団体、行政が一体となり、自然環境の保全に努める必要があります。

基本目標

人と自然との共生を図りながら市民の貴重な財産である優れた自然環境を保護、保全し、無秩序な開発を規制するとともに、自然や生態系の重要性について理解が深まるように、環境教育や自然保護思想の普及に努め、快適な都市環境を確保します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市自然環境保全基本方針

主要施策

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	自然環境に影響を及ぼすおそれのある開発行為に対して、適正な規制と指導を行い、良好な自然環境や生態系の維持に努めます。
2412511	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 苫小牧市自然環境保全条例に基づく開発行為の許可（良好な緑地に影響を及ぼす開発行為の制限）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自然環境保全条例に基づく開発行為許可件数	件	8	16	13		
今後の取組の方向性	苫小牧市自然環境保全条例の趣旨を踏まえ、樹木の伐採・伐根など良好な緑地に影響を及ぼす開発行為の規制を行うことで、自然環境の保全に努めます。						

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	野生動植物等の生息・生育地として貴重な湿原である美々川流域や弁天沼周辺地域などについては、自然環境保全に必要な実効性のある対策等を関係機関と連携しながら進めます。
2412512	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道が主催する「美々川自然再生アクションプログラムワーキンググループ」にオブザーバーとして参加（平成30年度は胆振東部地震の影響、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止） 弁天沼を含む下流域で北海道が進める遊水地（約950ha）の整備状況などの情報収集 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	美々川自然再生アクションプログラムワーキンググループ	回	0	1	0		
今後の取組の方向性	<p>美々川流域については、北海道の自然再生事業の推移を見ながら、今後も持続的に自然環境を保全するために必要な方策を検討します。</p> <p>弁天沼周辺については、北海道の遊水地整備の進行状況を注視し、工事期間における環境への影響の低減を要望します。また、整備後の自然環境保全施策を検討し、関係機関と連携して自然環境の保全に努めます。</p>						

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	農林業や生活環境への被害防止と良好な自然環境や動植物の生息環境維持のため、アライグマやエゾシカの捕獲などの事業を実施します。
2412513	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 特定外来生物のアライグマの捕獲（捕獲事業、箱ワナの貸出） 北海道によるエゾシカ捕獲事業を本市域内で実施することを要望 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	アライグマ捕獲頭数	頭	180	227	311		
	エゾシカ捕獲頭数（道事業）	頭	178	213	268		
今後の取組の方向性	<p>アライグマは旺盛な繁殖力があり、捕獲圧をかけ続けなければ生息数が増加に転じてしまうため、今後も捕獲事業を適正規模で継続します。</p> <p>エゾシカについては、今後も北海道の行う捕獲事業を本市域内で実施することを要望します。また、市の事業としては、関係課と連携しながら捕獲を進めます。</p>						

2 自然保護思想の普及

SDGs
17の目標



施策番号	自然保護思想の普及と自然に対する市民の理解を深めるため、関係機関・団体と連携し、広報活動、学習活動などを実施します。
2412521	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・各種啓発事業（自然ふれあい教室、市民探鳥会、自然観察会、自然写真・水鳥絵画展の募集、いのちの授業など）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自然ふれあい教室（実施回数・人数）	回・人	15・931	14・911	8・616		
	いのちの授業（実施回数・人数）	回・人	20・1,220	44・1,339	52・1,547		
今後の取組の方向性	自然保護思想の普及を図るため、関係機関・団体と連携を図り、自然の豊かさと野生動物保護の大切さなどについて、情報発信を行うとともに、各種学習活動を実施します。						

2 自然保護思想の普及

SDGs
17の目標



施策番号	ウトナイ湖野生鳥獣保護センターを中心に自然環境などに興味関心が持てるような各種啓発事業を実施し、自然との共生の大切さをより多くの方に広めます。
2412522	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・各種啓発事業（ウトナイ湖漁業体験、自然観察会、野生鳥獣救護講座など）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター入館者数	人	50,154	48,072	35,013		
今後の取組の方向性	ラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖には、人と野生生物の共生が図られるよう、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターを開設し、各種啓発事業を通して自然保護思想の普及に努めており、今後も事業を継続します。また、道の駅ウトナイ湖との連携など、現行事業の見直しによる新たな事業の検討を進め、市民が興味関心を持ち参加したくなる各種啓発事業を実施します。						

基本施策26 公害の防止と地球環境の保全

現況と課題

工業都市として発展してきた本市は、きめ細かな環境監視や公害の未然防止と自然環境の保全の取組を重点施策として推進してきたことにより、様々な環境水準は比較的良好な状態にあります。

しかし、近年は地球温暖化を始めとした地球規模の問題や微小粒子状物質PM2.5による越境汚染などが発生し、環境問題の質や広がりに変化してきています。

このような環境の諸問題に対応するため、今後も公害の未然防止を基本とした対策に取り組むとともに、市民一人ひとりが地球環境の中で生きるものの一員であることの自覚を持ち、自ら行動し、地球環境への負荷の少ない社会を構築していく必要があります。

基本目標

産業型公害や社会情勢の変化による環境の諸問題に適切に対応するため、引き続き環境監視の継続と充実を図り、公害の未然防止に努め、市民の健康及び安全な生活を守ります。

また、近年の地球環境問題は、私たちの日常生活や社会システムの変化などが、密接に関わっていることから、市民、事業者が、より環境に配慮したライフスタイルへの転換を図るなど、地球環境への負荷の少ない社会の構築を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苦小牧市環境基本計画
- ・ 苦小牧市地球温暖化対策地域推進計画

主要施策

1 公害の防止



施策番号	市民の健康と安全な生活環境を確保するため、各種環境測定機器の適切な維持管理及び充実を図るとともに市民への情報提供に努めます。
2412611	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種常時測定機器保守点検の実施 ・ 大気系井局、勇払局内の老朽化した測定機3台を更新 ・ 測定効率向上を図るため大気市役所局、勇払局の記録計をデジタル記録計に更新 ・ 大気測定データは1時間毎にホームページの「苦小牧市の大気環境」で公表 ・ 大気・航空機騒音の月報をホームページ及び例月発行の冊子で公表 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	大気環境基準達成率	%	91	91	91		
	航空機騒音環境基準達成率	%	100	100	100		
今後の取組の方向性	<p>市民の健康と安全な生活環境を確保するため、老朽化した大気汚染常時監視測定機器の更新や、時代のニーズに合った公害測定機器の整備を進めます。</p> <p>また、監視結果に問題がある場合や市民からの相談に対しては、発生源の調査や必要に応じて指導等を実施します。</p> <p>監視データの情報提供については、引き続きホームページや例月発行の冊子で公表を行うほか、緊急時には広く市民に周知や注意喚起を行います。</p>						

1 公害の防止

SDGs
17の目標



施策番号	自動車や航空機などからの交通公害、化学物質による環境汚染については、市民や事業者の理解・協力を得ながら未然防止対策を推進します。
2412612	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内各地点において、一般環境、自動車騒音・自動車交通振動、航空機騒音、有害大気汚染物質、悪臭、河川水質などの測定を実施 結果を環境白書やホームページに掲載し公表 施設設置届出や工事等の作業実施届出提出時に公害防止対策について確認を行い、必要に応じて指導や助言を実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各種測定結果の基準達成率	%	95	98	97		
今後の取組の方向性	<p>各測定毎に評価を実施し、必要に応じて発生源に対する指導や要請などを行いながら、公害の未然防止を基本として対策を推進します。また、問題等発生時の対策についても迅速な対応に努め早期解決を目指します。</p> <p>今後はアスベスト含有建築物の解体件数の増加が見込まれるため、飛散事故等を未然に防ぐため監視を強化します。</p>						

1 公害の防止

SDGs
17の目標



施策番号	事業者などに対する法令及び公害防止協定による規制・指導により、公害を未然に防止します。
2412613	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内立地予定企業と公害防止に係る事前協議を実施 既に公害防止協定を締結している企業の施設変更時に事前協議を実施 協定締結企業の排ガス・排水状況の監視及び必要に応じた指導・助言を実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公害防止協定 基準値達成率	%	100	100	100		
今後の取組の方向性	<p>立地予定企業との事前協議に加え、協定締結企業の排ガス・排水状況の監視及び必要に応じた指導・助言を行い、公害を未然に防止します。</p>						

2 地球環境保全の推進

SDGs 17の目標	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 	14 海の豊かさ を守ろう 	15 陸の豊かさも 守ろう 
---------------	--	--	---	--	--

施策番号	「環境基本計画」及び「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、環境負荷の小さいまちづくりを市民・事業者とともに進めます。
2412621	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	市民、事業者、民間団体で構成する環境基本計画推進会議で、環境基本計画を推進するため、会議3回、啓発活動4事業実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	啓発活動事業への市民参加者数	人	161	137	143		
今後の取組 の方向性	地球環境への負荷の少ない社会を構築するため、市民一人ひとりが地球環境に関心を持つように、環境基本計画に基づき、各啓発活動事業を充実させ、参加者の更なる増加を図る取組を進めます。						

基本施策27 生活衛生の充実

現況と課題

健康で快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりが「住みよい環境は自分が守る」という高い意識を持ち、それを実践することが必要不可欠です。一方、生活衛生における課題は、市街地における病害虫の異常発生、犬猫による近隣トラブルと狂犬病予防注射接種率の低下、公衆浴場の存続問題、下水道認可区域以外の区域における汚水等の処理など、数多くあります。

老朽化が進む高丘霊園や動物火葬場、熱劣化による損傷が著しい高丘霊葬場の火葬炉設備についても計画的な改修を行っていかねばなりません。

また、墓地使用申込みの減少が続いていることから、需要に応じた墓地の造成を行い、多様化する市民ニーズに対応するため新たな埋葬方式についても検討する必要があります。

基本目標

市民への衛生意識の啓発・指導などの機会の充実を図り、良好な生活環境を確保します。
また、市民の需要に応じた霊園や霊葬場などの整備・改修を行い、施設の安定運営に努めます。

主要施策

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	空き地所有者に対し、雑草除去の指導勧告を行い、火災や犯罪、病害虫の発生を防止します。
2412711	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の空き地調査を実施 ・適正に管理がなされていない空き地の管理者に対して文書を発送 ・改善が見られない空き地管理者に対して文書の再発送、再々発送 ・固定資産税（資産税課）の納付書発送時に空地の適正管理を促す依頼文書を同封 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	文書発送通数（1回目）	通	863	826	832		
	文書発送通数（2回目）	通	305	382	299		
	文書発送通数（3回目）	通	-	197	150		
今後の取組の方向性	<p>空き地において雑草等の繁茂を放置した場合、害虫の発生に留まらず、事件・事故及び火災等の起因となり、地域環境の悪化を引き起こすことから、新たに策定したガイドラインを活用し、市民や空地の管理者に草刈りの必要性について周知を図ります。</p> <p>また、空き地の草刈りは管理者の協力が必須であり、今後も引き続き管理者に対し適正な維持管理を粘り強く要請します。</p>						

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	犬猫飼育者に対し、適正飼育の啓発や指導を行い、犬猫が引き起こす様々な近隣トラブルを防止するほか、狂犬病予防注射接種率を向上させることで狂犬病の発生を防止します。また、野良猫等によるふん尿被害を防止するため効果的な啓発・指導・勧告を行います。
2412712	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射（集合注射）の実施（4月） ・狂犬病予防注射案内ハガキの発送（9月下旬及び3月下旬） ・犬の登録及び狂犬病予防注射について、市ホームページやポスター等で周知 ・野良猫等のふん尿被害の連絡が市に寄せられた場合は、現地確認を行い特定できれば直接注意指導を行うほか、チラシやポスターにより注意喚起 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	狂犬病予防注射接種率	%	69.34	67.74	69.34		
今後の取組の方向性	<p>狂犬病の国内発生や拡大・まん延防止を図るため、犬の飼い主一人ひとりが狂犬病に関して正しい知識を持ち、飼い犬の予防注射を確実に行うことが必要であることから、今後もより一層意識啓発を図ります。</p> <p>また、犬猫等のふん尿被害を抑制するため、ガイドラインの策定を検討するとともに、市ホームページや広報等を活用し引き続き注意喚起を図ります。</p>						

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	公衆浴場の存続と経営の安定化を図るため、各種の助成を継続します。
2412713	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆浴場下水道料金軽減 ・公衆浴場振興補助金 ・公衆浴場設備整備助成金（実績なし） ・公衆浴場確保対策事業 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	補助金・助成金（上記のとおり）	千円	21,428	21,694	22,128		
今後の取組の方向性	<p>近年、公衆浴場の経営が困難な傾向にあることを踏まえ、公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、経営の持続性を確保するとともに、高齢者や障がい者などが利用しやすい環境づくりを推進します。</p>						

1 生活環境の確保

SDGs 17の目標



施策番号	市街化調整区域であり、下水道認可区域以外の区域における合併処理浄化槽の普及を促進し、公衆衛生の向上を図ります。
2412714	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽設置整備事業の周知 合併浄化槽設置申請の受付 合併浄化槽維持管理改善の通知 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	合併処理浄化槽補助金交付件数 (家庭)	件	2	0	0		
	合併浄化槽設置申請数 (事業者)	件	10	19	22		
	浄化槽維持管理改善通知数	件	31	33	39		
今後の取組の方向性	<p>生活環境の改善や河川等の汚濁を防止するため、合併処理浄化槽設置整備事業を継続するとともに対象者への普及啓発を行い、合併浄化槽整備を促進します。</p> <p>また、浄化槽法で規定されている法定検査の未受検者や検査結果が不適正となった場合は、適切な指導を行います。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs 17の目標



施策番号	高丘霊園及び高丘第二霊園の老朽化した施設の整備を行い、利便性の向上を図ります。
2412721	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 高丘第二霊園第二トイレ撤去工事を実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業費 (上記のとおり)	千円	7,816	2,500	968		
今後の取組の方向性	<p>大規模改修工事 (平成26年度～平成29年度) により、利用者の利便性向上が図られたが、いまだ一部施設の老朽化が著しいため、今後も緊急性に応じて、高齢者や障がい者に優しく、安心して墓参できるよう霊園の整備を行います。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	動物火葬場の更新について検討します。
2412722	

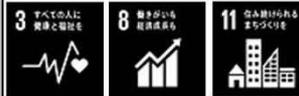
担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・動物火葬場の在り方についての検討						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業費(上記のとおり)	千円	76	198	0		
今後の取組の方向性	高丘動物火葬場は、市民を対象に亡くなったペット等を火葬する施設として市民生活に寄与しておりますが、昭和53年から運用開始している火葬炉設備等の劣化が著しいことから、定期点検・修繕などにより安定した業務を行う一方、今後の動物火葬場の在り方について検討します。						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	高丘霊葬場の指定管理者制度を継続するとともに火葬炉設備の計画的な改修を行い、安定した火葬業務に努めます。
2412723	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の継続 ・火葬炉設備改修工事を実施 ・火葬炉等改修工事基本計画の策定 ・待合室の洋室化に向けた準備作業の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	指定管理費	千円	46,416	49,065	49,409		
	火葬炉設備改修工事費	千円	17,896	16,632	16,830		
	火葬炉等改修工事基本計画策定	千円	-	-	0		
今後の取組の方向性	<p>民間事業者の能力やノウハウを広く活用し、市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を継続します。</p> <p>また、高丘霊葬場は平成9年の供用開始から20年以上が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、計画的な点検整備を行い、安定した業務を継続するとともに、火葬炉等改修工事基本計画を策定し、大規模改修に向けた取り組みを進めます。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	墓地に対する需要動向を見極め、効率的な墓地の造成を行います。
2412724	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい墓所の在り方等の検討 ・苫小牧石材協同組合会員に対するヒアリングの実施 ・新しい墓所に関する情報収集 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	共同墓受入体数	体	588	490	473		
今後の取組の方向性	<p>令和元年度に実施したアンケート結果を踏まえ、今後は市民ニーズの需要に沿った墓所整備の検討や維持管理を実施するとともに、将来に向けた市営墓地のあり方を更に検討します。 平成30年度から使用を開始した共同墓については、想定を上回るペースで利用申請があることから、今後の在り方について検討を行います。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	少子高齢化や核家族化による市民ニーズに対応するため、新たな埋葬方式について検討します。
2412725	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・墓所返還事業融資利子等補給金交付事業の制度化 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
今後の取組の方向性	<p>近年「終活」という言葉をよく耳にするようになり、人生終焉の迎え方をしっかり考える時代が到来しています。それを象徴するように、期限付墓所や樹木葬など新たな埋葬方式が普及し始め、全国的にお墓のあり方が大きく変化しています。 今後は、市民アンケート結果を踏まえ、市民が望む新たな埋葬方式に沿った墓所整備の可能性や維持管理方法を検討するとともに、無縁墓化の抑制を図るため墓所返還事業を推進します。</p>						

基本施策28 ごみの減量とリサイクルの推進

現況と課題

本市では、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、平成22年（2010年）3月に平成22年度（2010年度）から平成36年度（2024年度）までを計画期間とする「苫小牧市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。この計画では、「053(ゼロごみ)のまち とまこまい」を基本理念に、①リフューズ（ごみ発生抑制）、リデュース（ごみ排出抑制）、リユース、リサイクルの4Rの推進によるごみの減量、②市民との情報共有と環境教育の推進、③環境負荷の軽減を目指す効率的なごみ処理事業の推進の3つの基本方針を定め、ごみの発生・排出削減及びリサイクル、適正処理に向けた取組や方策を定めています。この計画に基づき、計画前期に家庭ごみの有料化の導入や資源物の分別品目拡大等の施策を実施し、市民や事業者の協力のもと、計画前期の目標である「1人1日当たりの家庭ごみ排出量550g」と「リサイクル率28%」を達成することができました。

今後のごみ処理の課題としては、①生ごみなど家庭ごみの減量とリサイクルの推進、②事業系ごみのうち資源化が可能な紙類などの減量とリサイクルの推進、③分かりやすい市民への情報提供と啓発、④将来を見据えた焼却処理施設の適正配置や最終処分場の整備などローコストで効率的なごみ処理システムの確立などがあります。

これらのごみ処理の課題や国の新たな方向性を注視し、資源循環型社会の構築を目指していく必要があります。

基本目標

循環型社会の構築に向け、市民・事業者・行政が一体となり、4Rの推進と、適切な情報提供、情報共有、環境教育を推進するとともに、効率的な収集運搬体制や適正な規模の処理施設の確保に努め、更なるごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

関連する個別計画

- ・苫小牧市一般廃棄物処理基本計画

主要施策

1 4Rの推進によるごみの減量

SDGs 17の目標					
---------------	--	--	--	--	--

施策番号	家庭ごみの減量に向け、ごみ発生抑制・排出抑制行動のきっかけづくりとなる取組や生ごみ3きり運動の推進、生ごみ堆肥化容器等の普及を促進するとともに、生ごみの資源化に向けた施策の調査・研究を進めます。
2422811	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化容器及び電動生ごみ処理機購入者に対する助成制度 ・生ごみ分解処理容器購入助成制度 ・電動生ごみ処理機貸出事業 ・生ごみ堆肥化講習会はコロナ禍で中止 ・市内店舗への2510（ニコとま）推奨店への働きかけはコロナ禍で中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	生ごみ堆肥化等助成事業	件	159	103	116		
	2510（ニコとま）運動推奨店（累計）	店舗	21	28	31		
	フードドライブ事業回収品目	品	32	64	0		
今後の取組の方向性	<p>コロナ禍で家庭ごみが増加する中、ごみの減量を図るため4R*の取組を強化します。加えて、ごみの発生・排出抑制策として、生ごみ堆肥化・分解処理容器購入助成事業や食品ロス対策の啓発活動、フードドライブ事業等を実施します。</p> <p>また、幅広い年代に4Rの取組を浸透させるため、生ごみ堆肥化講習会のほか、SNS等を利用して効果的な情報発信を行うなど、意識啓発に努めます。</p> <p>併せて、他市町村で行っている生ごみの資源化に関する施策の調査・研究を行います。</p> <p>※4R:リフューズ（発生抑制）、リデュース（排出抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）</p>						

1 4Rの推進によるごみの減量



施策番号	多量排出事業者への啓発・指導や収集運搬許可業者と連携した分別や適正排出の指導を行うことにより、事業系ごみの減量を推進します。
2422812	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・事業系ごみの組成分析及び職員による展開調査はコロナ禍で中止						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業系一般廃棄物のごみ量	t	22,836	22,153	20,791		
	組成分析回数	回	6	5	-		
	展開調査回数	回	18	9	-		
今後の取組の方向性	事業系ごみを減量するため、ごみの組成分析及び展開調査の実施により排出状況を把握し、分別状況の悪い事業所を対象に排出指導や説明会、出前講座を実施します。 現在はコロナ禍で組成分析を中止しておりますが、積極的なリサイクル等を事業者へ働きかけるなど、引き続き事業系ごみの減量に取り組めます。						

1 4Rの推進によるごみの減量



施策番号	分別徹底の周知強化や集団回収の促進、拠点回収の推進、事業系ごみリサイクルの促進により、資源物のリサイクルを推進します。
2422813	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・集団回収奨励金の交付 (208 団体 12,967千円) ・市の公共施設における拠点回収をごみ収集カレンダー等で周知 ・ごみ分別アプリの導入						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	集団回収量	トン	5,315	4,863	4,322		
	拠点回収量	トン	322.9	237.6	250.1		
	リサイクル率	%	31.4	31.2	30.8		
今後の取組の方向性	資源物のリサイクルを推進するため、集団回収奨励金や拠点回収事業を継続します。 また、市民にごみ減量とリサイクル推進の意識啓発を図るための出前講座については、新型コロナウイルス感染防止に留意したリモート形式などで工夫をして開催します。 さらに、広報紙、ホームページ、SNS、ごみ分別アプリなど様々な媒体を利用した啓発活動を展開し、ごみの減量に取り組めます。						

2 市民との情報共有と環境教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	転入者に対する周知・啓発、リサイクルプラザ苦小牧での各種情報の提供、次世代市民への環境教育の充実を図ることにより、ごみ減量とリサイクル推進に関する情報発信を推進します。
2422821	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の実施 ・ 環境教育副読本の作成（市内小4、中1配布） ・ 転入者向けごみ分別相談窓口の実施（4月、10月） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	出前講座（参加者）	人	3,624	912	773		
	転入者向けごみ分別相談窓口	人	385	126	87		
	リサイクルプラザ来館者数	人	26,919	21,814	17,100		
今後の取組の方向性	<p>ごみ減量とリサイクル推進について、次世代市民を含め幅広く市民に啓発するため、出前講座のほか、各種パンフレット等をQRコードで確認できる「ゼロごみ推進CARD」配布を継続します。また、転入者に本市のごみ排出ルール等を理解していただくため、転入時期に合わせた分別相談窓口を設置し、説明や相談対応を行います。</p> <p>さらに、次世代市民向けの環境教育として、副読本の配布や幼児向けにシール付きリーフレットの配布、リサイクルプラザ苦小牧における体験学習等を継続します。</p>						

2 市民との情報共有と環境教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	ぼい捨て防止対策や不法投棄対策の強化、パトロールや指導などによるごみ排出マナーの向上、市民と協働して美化活動に取り組むことで、環境美化を推進します。
2422822	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員及び地域住民による不法投棄パトロールの実施 ・ ぼい捨て禁止看板の設置 ・ 監視カメラの設置 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	不法投棄発生件数	件	88	78	88		
今後の取組の方向性	<p>注意看板や監視カメラの設置、巡回パトロールのほか、市民団体や周辺企業によるボランティア清掃を支援するなど、市民と協働の取組を実施します。</p> <p>また、ごみ投棄者の倫理に訴えることを目的に、ボランティア清掃に加え、SNS等による情報発信や、ぼい捨ての多い場所の周辺企業等に啓発チラシ等の配布など、工夫した取組を実施します。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	安定したごみ処理体制の確立のために、沼ノ端第2埋立処分場を整備するとともに、廃棄物処理施設の跡地利用を検討します。
2422831	

担当部・課	環境衛生部 施設管理課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・沼ノ端第2埋立処分場を計画どおり整備完了、令和2年10月末より使用開始。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	沼ノ端第2埋立処分場の整備（出来高／総事業費）	%	28	49	100		
	糸井清掃センターの休廃炉		休炉	廃炉	-		
今後の取組の方向性	<p>ごみ処理施設は、衛生的で快適な市民生活に欠かせないインフラであるため、今後も安定的に処理機能を確保していく必要があります。</p> <p>令和2年度に、沼ノ端第2埋立処分場の整備を完了したところですが、引き続き、廃棄物処理施設の機能維持に努めるとともに、平成31年に廃炉とした糸井清掃センターの跡地について、災害廃棄物の集積場として活用するなど、跡地利用についても検討します。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	国・北海道などと連携しながら、災害廃棄物処理計画の策定を含め、災害時の対応や災害廃棄物の適正処理に向けた取組を進めます。
2422832	

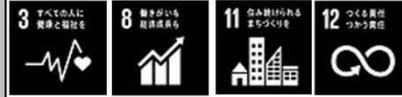
担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市災害廃棄物処理計画の策定に向けた情報収集 ・近隣自治体との協議 ・ごみ収集業者などの関連企業との協議 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苫小牧市災害廃棄物処理計画骨子及び計画	%	0%	50%	50%		
今後の取組の方向性	<p>平成30年度及び令和元年度に国のモデル事業に応募し、災害廃棄物処理計画の骨子案を策定しております。令和2年4月に国から太平洋側を震源とする巨大地震による津波浸水想定高が公表され、これを受けて北海道で新たな津波浸水被害想定を策定しております。本市では令和3年から令和4年度にかけてハザードマップの改定作業が予定されており、この進捗状況を見つつ災害廃棄物処理計画を策定します。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	ふくしのまちづくりに向け、戸別収集の段階的導入、ごみ収集の多面的機能について検討を行うほか、ふれあい収集の推進を図ります。
2422833	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>1 戸別収集の拡大を見据えたごみ収集作業効率化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適正ごみ対策などごみ収集に関する官民ワーキンググループの実施 ・戸別モデル地区の改善 ・ごみ収集カレンダーの見直し <p>2 ふれあい収集体制の強化（車両の増）</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	官民ワーキンググループの開催	回	-	1	3		
	ふれあい収集の件数	件	654	687	703		
今後の取組の方向性	<p>戸別収集の全市への拡大について、方針変更はないものの、現在、人員確保の問題やコロナ禍などを考慮し、実施を凍結しています。</p> <p>今後もモデル地区においてごみ容器設置場所の見直し等による収集作業の効率化を検証するなど、ふくしのまちづくりに相応しい戸別収集の在り方を検討します。</p>						